

【幕岩の小径/柳町】戦国武将の沼田氏11代当主・泰輝が築いた幕岩城周辺に湧き水が流れており、「殿様清水」と呼ばれ生活用水に使われた。殿様清水から幕岩城へ続く道から「幕岩の小径」と名付いた【武尊山の岩脈/下久屋町】1,100万年程前、上州武尊山噴火で流れ出した溶岩が沼田台地にまで広がり、地層や岩に入り込み固まった。溶岩の先端と思われる下久屋町にある岩脈は、沼田城築城の際の石垣の用材の産地



坂との共生 多様な価値を見つめて

侵食によって形成され、現在も城下町の形跡や火山の噴火による大きな岩脈が残るなど、長い年月と歴史によって造り上げられた沼田台地。台地に築かれたたくさんの坂や小径は、暮らしの便利さや交流の豊かをもたらし、一方、人間のようにさまざまな顔や特徴といった独自の味も持つ坂は、私たちに眼差しを注いでいます。まっすぐに続く坂道や折れ曲がって続く坂道、階段が多い坂道、複数の坂が交差する坂道、子どもの元気な姿に微笑ましさを感じる坂道、歴史建造物が残る風情ある坂道、上り切って振り返ると広がる絶景、下るごとに刻々と変化する景観。沼田の顔ともいえる坂の多様な価値を改めて意識し、これからの私たちと共生し続ける坂とのあり方を考えてみてはいかがでしょうか。

夕刻になりポツポツと生活の明かりがとる沼田台地の前にSLの煙が上る。城下町沼田のシンボル「沼田城」はこの崖端につくられた。